



研究主題：

# 日本の若者の恋愛観・結婚観 (ジェンダー学・社会学)



特任助教 **相原 征代** AIHARA Masayo

## 研究のキーワード

恋愛観・結婚観・ジェンダー・フェミニズム

所属：岐阜大学 男女共同参画推進室  
役職：特任助教  
E-mail : aihara@gifu-u.ac.jp  
専門分野：ジェンダー学・社会学

## 一言アピール

フランスに約7年、イタリアに約3年滞在していました。ジェンダー学・社会学が専門ですが、ヨーロッパの問題（移民・文化）にも興味あります。  
ヨーロッパでの調査を伴う共同研究をしていただけると嬉しいです。

## 経歴

1998年 国際政治学修士（青山学院大学 大学院）  
2002年 DEA社会学（フランス・トゥールーズ第二大学）  
2006年 青山学院大学 国際政治経済学研究科  
国際政治学専攻5年一貫制博士課程  
単位取得満期退学  
2011年 社会学博士（フランス・トゥールーズ第二大学）  
2011-2015年 佐賀大学 文化教育学部 講師

## 研究の概要

現在の研究は、小山先生（流域）、船越先生（サポートセンター）、大崎先生（岐阜女子大学）との研究で、「生きづらさ学」の構築に取り組んでいます。その中では、以前からの研究である大学生カップルにインタビューをして、恋愛観・結婚観の聞き取りをする調査をしています。  
参加者大募集です。

## 代表論文

- 「『男女不平等』としての結婚—日本とフランスとの比較から」藤田・宮野編『愛・性・家族の哲学③家族—共に生きる形とは？』ナカニシヤ出版, 38-66頁担当。
- 「恋愛・結婚の臨床学 — 現代日本社会の『恋愛のカチ』」『臨床知と徴候知』作品社, 61-90頁担当。
- 「インターフェイス教育の可能性 — 『文化創造・現場力』の実践と教員・学生間の『相互作用』 — 」九州地区国立大学教育系・文系研究論文集, 1(1), 2013/10
- 「日本における少子化問題とその社会的背景の分析」EMPAN, (88):116-122, 2012/12, ERES出版社（原語はフランス語）
- 『日本における結婚の意義の文化・社会学的分析と母性の「個人化」の可能性に関する一試論』 2011/06, 社会学博士論文（トゥールーズ第二大学（ミライユ）提出）（原語はフランス語）、全311頁。
- 『フェミニズム』における母娘関係の研究 — クリステヴァ・イリガライにみる『二元論』克服の試み— 1998/03, 国際政治学修士論文（青山学院大学時 国際政治経済学研究科 提出）

## 共同研究希望分野

社会学（特に量的調査）・法学